



## 2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月14日

上場会社名 ジャパンシステム株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9758 URL https://www.japan-systems.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川田 朋博  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 近藤 学 TEL 03-5309-0300  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第1四半期の連結業績 (2020年1月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	2,797	9.3	355	35.9	356	33.0	233	31.2
2019年12月期第1四半期	2,560	△0.7	261	179.2	267	155.6	177	207.1

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 221百万円 (16.4%) 2019年12月期第1四半期 190百万円 (413.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	8.95	—
2019年12月期第1四半期	6.83	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第1四半期	7,366	5,454	74.0	209.49
2019年12月期	7,061	5,388	76.3	206.97

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 5,454百万円 2019年12月期 5,388百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2020年12月期	—				
2020年12月期 (予想)		0.00	—	5.50	5.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,057	0.8	800	2.8	800	△0.2	480	△7.7	18.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 1 Q	26,051,832株	2019年12月期	26,051,832株
② 期末自己株式数	2020年12月期 1 Q	15,827株	2019年12月期	15,827株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 1 Q	26,036,005株	2019年12月期 1 Q	26,036,043株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、昨年下半年から年末にかけての消費増税・天候不順・米中貿易摩擦など不安要因の収束による回復期待からスタートしましたが、中国湖北省に端を発する新型コロナウイルスの世界的流行が2月から3月にかけて日増しに強まり、3月末には我が国においても東京オリンピックの開催延期が決定されるなど、景気見通しは急速に暗転することとなりました。

こうした新型コロナウイルス感染症感染拡大の当社グループ事業への影響については、当社グループの株式会社ネットカムシステムズのメディカル事業において、主要顧客である多くの医療機関が感染の急速拡大・感染者受入体制の整備などの対策に追われたことなどから、年度末（当四半期末）の受注・売上・納品の延期等影響を大きく受けることとなりました。

その他の事業については当四半期の売上・利益に大きく影響を及ぼした事象はありませんでしたが、先述のメディカル事業を筆頭に、対面営業の抑制や不要不急の商談延期などの社会動向が第2四半期以降の受注及び売上に影響を及ぼすことが予想されます。（※1）

一方で、社会的な行動変容や感染防止対策を推進する中でITツールが極めて大きな役割を果たしうるとの認識から、当社グループとしてもRPAソリューションをはじめとする自社技術・サービスを通じて、喫緊に顧客である地方公共団体・企業の適応上の課題解決に役立てていくべく対応を進めております。

また、同影響への当社グループの対応としてはテレワークやWEB会議を中心とする勤務体制への移行によって、社員の安全と事業の継続の両立を図るべく対策を進めております。（※2）

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,797百万円（前年同四半期比9.3%増）、営業利益は355百万円（前年同四半期比35.9%増）、経常利益は356百万円（前年同四半期比33.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は233百万円（前年同四半期比31.2%増）となりました。

（※1）新型コロナウイルス感染症の感染拡大が業績に及ぼす影響について、現時点で定量的に評価することが困難であるため、通期連結業績予想の数値には当該の影響予測は反映されておられません。

（※2）新型コロナウイルス感染症感染拡大防止への当社の対応方針・対策の実施状況については適宜、ホームページへの掲載などを通じ関係者にお知らせしております。

事業セグメント別の概況は次の通りです。

#### [システムインテグレーション事業]

当社が提供する「システムインテグレーション事業」においては、1月より2020-2022中期経営計画でお知らせしたマトリクス構造をもった新事業体制をスタートさせました。

地方公共団体顧客を主体とする“公共事業”領域においては、行政経営支援システム「FAST」の既存顧客の更新、新規顧客の本稼働を万全に実施した一方、「FAST」周辺ニーズの取り込みにも努め、大規模インフラ案件の受注等によりビジネス拡大を図りました。また、成長戦略サービスであるRPAを「FAST」ユーザ向けにパッケージ化した「RPA for FAST」の提供も本格的に開始いたしました。

民間顧客を主体とする“エンタープライズ事業”領域においては、当社主要取引先であるNTTデータ社との取引領域の拡張、一括請負型案件や準委任型エンジニアリング需要の増加に加え、その他民間顧客案件においても、持ち帰り型・請負型へのシフトや新領域への拡張を図りました。

これらの結果、「システムインテグレーション事業」の受注・売上・利益は、前年同期を上回る成績を達成、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,461百万円（前年同四半期比10.0%増）となりました。

なお、昨年発表したセキュリティ事業の譲渡につきましては、予定通り4月1日付で株式会社両備システムズへの譲渡を完了しております。

#### [画像処理ソリューション事業]

当社グループの株式会社ネットカムシステムズが提供する「画像処理ソリューション事業」においては、先述のようにメディカル事業の主要顧客である医療機関が当第1四半期において対策に追われたことなどから、メディカル事業の受注・売上・利益は前年同期実績から大きく減少した一方、ネットワークカメラ事業においては自社SW製品を主体とする大型案件の完成納品により売上・利益が大きく増加したことで、「画像処理ソリューション事業」全体としては前年同期を上回る売上・利益を達成、当第1四半期連結累計期間の売上高は336百万円（前年同四半期比3.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は7,366百万円となり、前連結会計年度末と比べ305百万円の増加となりました。流動資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加した一方で、仕掛品が減少したこと等により296百万円増加し5,802百万円となりました。固定資産は、無形固定資産が減少した一方で、投資その他の資産が増加したこと等により8百万円増加し1,564百万円となりました。

(負債及び純資産の部)

負債は、未払法人税等が減少した一方で、前受金が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ239百万円増加し1,912百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上した一方で、配当金を支出したこと及びその他有価証券評価差額金が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ65百万円増加し5,454百万円となり、自己資本比率は74.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月14日付の通期連結業績予想では非公表としておりました経常利益予想について、今般見込みが立てられる状況となりましたので新たに公表いたしました。

2020年12月期の通期連結業績予想に関しましては、新型コロナウイルス感染症感染拡大が業績に及ぼす影響について、現時点で定量的に評価することが困難であるため、2020年2月公表の数値から変更しておりません。今後の状況により、業績予想の修正が必要と判断した場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,375,231	3,505,149
受取手形及び売掛金	1,821,624	1,967,454
商品及び製品	53,555	50,142
仕掛品	37,101	16,121
その他	221,315	267,096
貸倒引当金	△3,646	△3,943
流動資産合計	5,505,183	5,802,020
固定資産		
有形固定資産	164,293	156,588
無形固定資産		
のれん	487,226	465,079
その他	326,393	317,243
無形固定資産合計	813,620	782,323
投資その他の資産	578,387	625,809
固定資産合計	1,556,301	1,564,721
資産合計	7,061,484	7,366,741
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	349,875	456,529
未払法人税等	286,741	184,695
賞与引当金	56,629	243,677
前受金	366,016	503,578
その他	555,446	465,809
流動負債合計	1,614,713	1,854,290
固定負債		
資産除去債務	54,119	54,276
その他	4,003	4,003
固定負債合計	58,122	58,279
負債合計	1,672,835	1,912,569
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,302,591	1,302,591
資本剰余金	1,883,737	1,883,737
利益剰余金	2,115,373	2,192,464
自己株式	△4,297	△4,297
株主資本合計	5,297,405	5,374,495
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	91,243	79,676
その他の包括利益累計額合計	91,243	79,676
純資産合計	5,388,649	5,454,172
負債純資産合計	7,061,484	7,366,741

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	2,560,597	2,797,777
売上原価	1,729,292	1,879,576
売上総利益	831,304	918,201
販売費及び一般管理費	569,890	562,857
営業利益	261,413	355,343
営業外収益		
受取配当金	5,502	409
その他	1,106	869
営業外収益合計	6,608	1,278
営業外費用		
原状回復費	54	392
為替差損	52	31
その他	2	—
営業外費用合計	109	424
経常利益	267,912	356,198
特別損失		
減損損失	309	347
特別損失合計	309	347
税金等調整前四半期純利益	267,603	355,850
法人税、住民税及び事業税	155,555	168,991
法人税等調整額	△65,671	△46,287
法人税等合計	89,883	122,703
四半期純利益	177,719	233,147
親会社株主に帰属する四半期純利益	177,719	233,147

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	177,719	233,147
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,716	△11,567
その他の包括利益合計	12,716	△11,567
四半期包括利益	190,436	221,579
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	190,436	221,579
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。